

都市再生整備計画 事後評価シート  
飛鳥京地区

平成28年2月

奈良県明日香村

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	奈良県		市町村名	明日香村		地区名	飛鳥京地区			面積	527ha		
交付期間	平成24年度～平成27年度		事後評価実施時期	平成27年度		交付対象事業費	532百万	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(尾曾線、小山19号線)、地域生活基盤施設(広場<飛鳥地内>)、高質空間形成施設(道路美装化<村道越2号線 他2路線>)										
		提案事業	地域創造支援事業(あすかなナビ整備事業、チャレンジショップ事業、集会所事業、地域防災施設整備事業)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし										
		提案事業	なし										
	新たに追加した事業	基幹事業	なし										
提案事業		なし											
交付期間の変更	当初	平成24年度～平成26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		道路(小山19号線)の用地買収に時間を要したため期間を延長。							
	変更	平成24年度～平成27年度											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	指標1	観光客数	千人	329	H23	350	H26	-	323	×	あり	道路や地域生活基盤整備及び高質空間形成施設の整備を行うと共に、チャレンジショップ事業やあすかなナビ整備事業を行い、観光基盤は向上したが、観光客の動向の変化により、施設入場者による指標の目標を達成できなかったと考える。	なし
	指標2	あすかなナビアクセス回数	人/月	2,300	H24	2,600	H26	-	2,960	○	あり	あすかなナビ整備事業による機能向上により、利用者増加に繋がった。	なし
	指標3	商工業者数	法人等	62	H23	65	H26	-	71	○	あり	地域生活基盤整備及び高質空間形成施設の整備を行うと共に、チャレンジショップ事業やあすかなナビ整備事業による相乗効果により、成果をあげることができた。	なし
	指標4	地域住民満足度	%	23	H19	40	H26		21.4	×	あり	防災等のまちづくりによる地域住民の満足度は、指標を計画地区全体で見ると地域防災施設整備や道路改良の整備を行うと共に、集会所事業による相乗効果により満足度が向上した。	なし
指標5										なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	その他の数値指標1	地域住民満足度	%	21.9	H19			23.1			あり	防災等のまちづくりによる地域住民の満足度は、指標を計画地区全体で見ると地域防災施設整備や道路改良の整備を行うと共に、集会所事業による相乗効果により満足度が向上した。	なし
	その他の数値指標2	観光客数(国営公園)	千人	781	H23			893			あり	道路や地域生活基盤整備及び高質空間形成施設の整備を行うと共に、チャレンジショップ事業やあすかなナビ整備事業による相乗効果により、成果をあげることができた。	なし
その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況													
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	持続的なまちづくり体制の構築					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							

## 様式2-2 地区の概要

### 飛鳥京地区(奈良県明日香村) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	数値	年度	数値	年度	数値	年度
日本のふるさと『あすか』の地域資源を活用した「もてなし」と「にぎわい」のまちづくり 目標1 地域伝統文化を継承するための安心快適な生活環境(防災面・利便性)の創出 目標2 道路網の整備等による多彩な交流と快適な周遊観光を可能とする「もてなし」空間の創出 目標3 観光産業の拠点及び情報基盤整備による魅力ある「にぎわい」空間の創出	観光客数	単位:千人	329	H23	350	H26	323	H26
	あすかナビアクセス回数	単位:人/月	2,300	H24	2,600	H26	2,960	H26
	商工業者数	単位:法人等	62	H23	65	H26	71	H25
	地域住民満足度	単位:%	23.0	H19	40.0	H26	21.4	H25



#### まちの課題の変化

①災害時における主要施設までのアクセス道路の整備及び自主防災などの取り組み等における地域活動の拠点施設整備や狭小な道路でも通行可能な機動性の高い軽四輪駆動ポンプ車を配備することで、生活環境整備(防災面・利便性)の向上が図られた。  
 ②県立庭球場へのアクセス道路整備により、当該施設へ大型車両の通行や周辺道路の混雑の解消行われ、飛鳥京地区内の円滑な周遊観光の利便性が図れた。  
 ③空き施設の改修による新規起業による商業店舗や、飛鳥京地区の玄関口である飛鳥駅の周辺沿道美化により、交流・もてなし空間の整備が行えた。  
 ④飛鳥京の広がりある歴史的風土の景観を俯瞰(体感)できる展望地整備や観光資源を巡るためのWEBサイトによる歩行者移動支援サービス『あすかナビ』の多言語を行うことで、海外からの来訪者をもてなすための観光基盤の向上が図られた。

#### 今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

飛鳥宮跡を核とした歴史を体感できるまちづくり  
 (1)飛鳥宮跡(特に内郭)を中心とした史跡指定及び史跡整備の推進  
 (2)既存施設の有効活用やコンピュータグラフィックを活用し、ストーリー性のある歴史展示の推進  
 (3)来訪者のアクセス向上  
 (4)屋外Wi-fiの設置など情報通信網の充実  
 (5)古民家等を活用した情報発信や宿泊等の施設の誘致  
 (6)電線類の地中化による集落景観の向上